



学校だより

あふれるいずみ

令和3年3月8日
練馬区立大泉西中学校
令和2年度3月号

共に社会をつくる人

校長 鈴木裕行

3月11日は今から10年前になる平成23(2011)年に起きた東日本大震災の日です。生徒の皆さんがまだ幼い頃の出来事でした。その後も様々な災害がありました。その復興への努力は今も続いています。まちづくりだけでなく、生活の立て直しや一人一人の心の痛みも含めて、みんなが助け合い、協力し合いながら災害を乗り越えるための努力を続けています。その努力には、協力し助け合う人間関係があるからこそ、一人一人が頑張れるようにも感じます。自然の大きな力に対して、私たちは社会という仕組みの力で助け合っています。新型コロナウイルス感染症の対応も、個人が感染予防の努力をしながらも、社会全体で乗り越えようとしています。

一方で、自然災害や新型コロナウイルス感染症だけでなく、社会の仕組みに対しても、自分の思うようにならないことがあると、私たちは集団や組織、社会が自分(個人)に対立するものとも考えることもあります。何かうまいかかないのは、集団や組織、社会のせいだという考えです。確かに社会の仕組みによって個人が辛い思いをする問題はたくさんあります。社会を個人に対立するものとして分けて考えなければならない問題もあります。でも、忘れていけないのは、私たちはそうした集団や社会の一員でもあるということです。うまくいかない集団や社会の一員なのであれば、うまくいくように行動するのも集団や社会の一員としての役目になります。私たちは個人を大切にしながらも、社会の一員として社会をつくり、それを支える存在でもあります。中学生には少し難しいかもしれませんが、東日本大震災からの10年を振り返りながら、私たち個人と社会との関係を考えてみるのも良いと思います。

今年の4月から、中学校の学習の基準を示した新しい学習指導要領が全面実施になります。これからつくろうとする社会を視野に入れて、中学校の学習に必要な内容と考えを示したものです。教科書もその基準に合わせた新しいものになります。この学習指導要領の理念の中には、社会参画を重視した教育も含まれています。令和3年度からは、本校の教育目標について、新たに社会参画の理念を加えて、「共に社会をつくる人」を加えることにします。

大泉西中学校の教育目標

- 豊かな心を持ち 思いやりのある人
- 自ら学び 正しく判断し行動する人
- 健康でたくましく生きる人
- 共に社会をつくる人(新設)

令和3年1月に文部科学省の審議会が「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現～」と題した答申を発表しました。日本の社会は自由を大切にしています。自由を大切にすることは個人を大切にするようになります。個人を強調して学習に当てはめると、テレビやラジオ、コンピューターなどを使って個人で勉強すれば十分と考えることもできなくはありません。教師による一方通行の授業ならば、自宅で動画を見ているのと同じで、わざわざ学校に行かなくても良いと言う人もいます。

個別最適な学びは、個に応じた学習の仕方を大切にする一方で、学ぶ者同士が同じ空間と時間を共有しながら、お互いの感性や考え方に触れて刺激し合うことも重要という考えも含んでいます。主体的・対話的で深い学びで授業を工夫することは、一人一人の良い点や可能性を生かしながら、異なる考え方が組み合わさってより良い学びが生まれるように努めることでもあります。協働的な学びを大切にすることです。個別最適な学びと協働的な学びは、どこか個人と社会の問題につながるようにも感じます。一人に1台配布されたタブレットパソコンは、個別最適な学びと協働的な学びの実現のために役立つ、新しい学習用具にしなければなりません。

オーケストラ鑑賞教室

1月29日（金）に文化庁の子供のための文化芸術体験機会の創出事業として、オーケストラ鑑賞教室を本校の体育館で開催しました。東京ニューシティ管弦楽団は、練馬区東大泉に事務局があり、毎年、練馬文化センターで行っているオーケストラ鑑賞教室で演奏をしている楽団です。今年度は新型コロナウイルス感染症の対応のため、練馬区のオーケストラ鑑賞教室は中止になりましたが、本校の生徒を対象に演奏をしていただく機会をつくることができました。

計画では、新校舎や新体育館の落成を記念したお祝いという意味も含めて、全校生徒や保護者、地域の皆様を対象に招いた演奏会を目指しましたが、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言の発出を踏まえ、1年生だけの鑑賞としました。2・3年生に聞いてもらえなかったことはとても残念でした。感染予防のために1年生も2学級と3学級に分けた2回の公演でしたが、総勢60人にも及ぶフルオーケストラの演奏という贅沢な演奏会でした。

演奏会が始まると1年生は全員が音楽に集中していてとても素晴らしい鑑賞態度でした。新体育館は暖房と換気が効いているだけでなく、オーケストラの響きがとても心地よく聞こえました。楽団からのプレゼントとして、團伊玖磨（だんいくま）が作曲した本校の校歌をオーケストラ用に編曲した演奏録音をいただきました。今後の教育活動の中で使いたいと思います。

当日の演奏プログラムは下記のとおりでした。

1. ジョン・ウィリアムズ／映画「スターウォーズ」よりメインテーマ
2. オーケストラの仕組みと楽器解説（各楽器の独奏とアンサンブル）
弦楽器 モーツァルト／アイネ・クライネ・ナハトムジークより第1楽章（短縮版）
ハープ 小品
木管楽器 チャイコフスキー／バレエ「白鳥の湖」より四羽の白鳥の踊り
金管楽器 デュカス／舞踊詩「ラ・ペリ」よりファンファーレ
打楽器 ドラムマーチ
3. 久石譲／映画「天空の城ラピュタ」より「君をのせて」
4. J.シュトラウスⅡ／ポルカ「雷鳴と稲妻」
5. ハチャトゥリアン／バレエ組曲「ガイーヌ」より「剣の舞」
6. ドヴォルザーク／交響曲第9番「新世界より」第4楽章
アンコール J.シュトラウスⅠ／「ラデツキー行進曲」

エコライフチェックによる樹木用プレート

練馬区民環境行動連絡会と練馬区は、区民の環境に配慮した生活（エコライフ）を広めるために、日常生活における二酸化炭素の排出を抑制し、地球温暖化対策を進めることを目的に、エコライフチェック事業「ストップ！地球温暖化 ねりま大作戦」を行っています。2年生のSDGsの学習にもつなげる活動に、本校の生徒は今年度も参加しました。

本校では、10月25日（日）一日の生徒たちの取組状況をエコライフチェックで報告しました。チェック項目は「買い物するときにマイバッグを持って行った」「冷蔵庫の扉を開けている時間を短くした」「食事や給食を残さずに食べた」「マイボトルを持ち歩いた」「近いところへは車に乗らないで、歩きか自転車で行った」などがあります。

練馬区全体の成果として、小・中学生26,070人を含め、合計42,225人が参加し、個人ではふだんの日より約2,75トンになる二酸化炭素の発生を減らすことができたとのことです。これは、直径20センチメートルのケヤキの木17,169本が一日あたりに吸収する二酸化炭素の量に相当するそうです。本校の敷地内の樹木、ソメイヨシノ2本とケヤキ1本に換算した樹木用プレートをいただきましたので、該当の木に取り付けました。

ソメイヨシノ（その1）	この木の幹回りは約270cmです。1日に約1,188gのCO ₂ を吸収しています。
ソメイヨシノ（その2）	この木の幹回りは約305cmです。1日に約1,446gのCO ₂ を吸収しています。
ケヤキ	この木の幹回りは約140cmです。1日に約415gのCO ₂ を吸収しています。

ソーシャルスキルトレーニング

2月5日（金）と3月1日（月）に、練馬区学校教育支援センターの事業を活用して、11月13日（金）の続きとなるソーシャルスキルトレーニングの授業を1年生が受けました。対人関係を中心にした社会性に関するスキルを学ぶための学習です。注目すべき対象を見ること、話を聞くこと、ルールを理解すること、協力すること、力を抜くことについて、心理の専門家である講師の指導で楽しく学びました。生徒たちは、周りとの自分の結果を比べながら楽しそうに活動をしなが、自分の性格を知る良い機会となっていました。また、個人でストレスを感じるときやそのときの対処法について考えたり、一人一人が自分と向き合うことができた学習でした。

情報モラル講習会

2月12日（金）の6校時に情報モラル講習会を行いました。練馬区教育委員会の委託を受けたプラムシステムズ株式会社の駒形徹也さんをオンラインで講師に迎え、各教室のプロジェクターの画面から話を聞きました。学年の代表となった学級は、教室の様子を撮影して講師にも生徒の様子が伝わるようにして、できるだけ双方向の学習になるようにしました。

講師の話は、「ネット・SNSの賢い使い方」と題した内容です。自分の評判を傷つける使い方、友達や他人を傷つける使い方など、ネットの書き込みや撮影した写真の位置情報、デジタルタトゥー、写真や動画が流出する怖さ、ネットいじめは犯罪などの実例をあげていました。生徒の皆さんはこうした学習を小学校の時から繰り返し受けてきていますが、残念ながらパソコンやスマートフォン、携帯電話を使い始めると、学習したことを忘れてしまう人がいます。一方で、ネットやSNSの使い方を見て、これはおかしい、問題があるのではと気付いて大人に相談できる人がいることは心強いことです。

今回は新型コロナウイルス感染症の対応のため、保護者の皆様に聞いていただく機会をつくることはできませんでした。本校ではスマホ家庭ルール週間の取組を繰り返し行っています。国全体でも「春のあんしんネット・新学期一斉行動」の取組を行っています。SNS練馬区ルールや西中携帯・スマホルール、そして家庭のルールを再確認しましょう。

地域未来塾

2月16日（火）から2月22日（月）までの間の5日間、集会室で地域未来塾を開催しました。1・2年生中心でしたが、意欲をもって自分から勉強しようとする生徒、自分で勉強することを用意してくる生徒がたくさん参加しました。のべ71人の生徒が参加しました。

一部ではありますが、参加した生徒にアンケートをお願いしたところ、「参加して良かったと思いますか。」の質問に「とてもそう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は93.4%でした。その理由には、「家で勉強しようと思っても途中で飽きてゲームなどを始めてしまうので、未来塾だとゲームがなく、集中できたから」「分からないところが解決したから」「勉強時間が増えた」「分からないことがわかるようになった」「ちょっと楽しかった」などの回答がありました。また、「勉強の面で成長できたと思いますか。」の質問に「そう思う」と回答した人の割合は73.3%でした。その理由として、「学力考査の点数が上がった

（63.6%）」「学校の授業以外（自宅や図書館など）での学習時間が増えた（45.5%）」「勉強に対するやる気が前よりも高まった（45.5%）」「分からないことをそのままにしないようになった（36.4%）」「苦手だった内容が分かるようになってきた（36.4%）」がありました。

SNS練馬区ルール

- 1 家族と利用時間を決める。
- 2 自分の写真や動画、個人情報をおのせない。
- 3 投稿する際には保護者や先生に見られても良い内容にする。

西中携帯・スマホのルール

- ・ 自分を守ろう（知っている人とは連絡を取らない、URLをうかつにクリックしない、ネット上でお金を勝手に使わない）
- ・ 相手に配慮しよう（誹謗中傷しない、個人情報を漏らさない、チェーンメールを回さない、仲間はすれをしない、夜10時以降の連絡は控える）
- ・ 家族で話し合おう（各家庭で「我が家の携帯、スマホのルール」を作る、親が使用状況を把握できるようにする）

自分から進んで取り組む生徒が対象のアンケートなので、当然の結果ではありますが、頼もしい生徒の姿です。

制服の直し

個人差はありますが、中学生の時期は体が大きく成長する時期です。3年間の身長や体重の変化は、右の表のとおりです。特に男子生徒の身長と体重の変化は、とても大きい状況です。身長と体重に合わせて靴のサイズも大きく変わります。当然、入学の時に大きめのサイズで購入した制服や体育着、上履きなどは、個々の生徒の成長により、体に合わなくなることにもなります。

今の生徒に見ることはありませんが、ひと昔前によく見られた上履きのかかとを踏む履き方や、ズボンを腰まで下げる履き方、スカートを短くして着る姿は、当時の多くの生徒は一時期のファッションや流行として捉えていました。でも、着崩す姿の裏事情には、体の成長に合わなくなった服や靴を着ていたことがあったのかもしれない。

本校では、PTA活動の一環として、制服等のリサイクル活動を行っていますが、必要な人の全てのニーズに応えられるわけではありません。また、本校の制服販売を扱っている大泉モリシタ（03-3922-1424）やムサシノ学生服（0422-21-3711）では、丈出しや袖出しなどの制服の直しについては無償で対応するとのこと。3年間の中学校生活なので、生徒の成長に合わせて直したり買いなおしたりすることは大変ですが、生徒の様子をご確認いただき、対応していただくことをお願いいたします。

	学年	平均身長 (cm)	平均体重 (kg)
男子	1年	152.8	44.2
	2年	160.0	49.2
	3年	165.4	54.1
女子	1年	151.9	43.8
	2年	154.8	47.3
	3年	156.5	50.1

令和元年度学校保健統計より

★★★3月の予定★★★

日	曜日	予 定	給 食		
			I	II	III
1	月		●	●	●
2	火	都立一次・前期入試発表 SC	●	●	×
3	水		●	●	●
4	木	専門委員会（後期最終） 心ふれ	●	●	●
5	金	5、6校時：薬物乱用防止教室（3）、都立高校後期・二次入試出願	●	●	●
6	土				
7	日				
8	月	全校朝礼、安全指導、English week（始）、都立高校後期・二次入試願書取り下げ	●	●	●
9	火	都立高校後期・二次願書再提出 SC	●	●	●
10	水	学年行事（3）、都立高校後期・二次入試 心ふれ	●	●	●
11	木	心ふれ	●	●	●
12	金	English week（終）	●	●	●
13	土				
14	日				
15	月	生徒朝礼、1～4校時：VR 修学旅行（3）	●	●	●
16	火	5校時：卒業式予行（3）、避難訓練、4、6カット、都立高校後期・二次入試発表 SC	●	●	●

17	水	心ふれ	●	●	●
18	木	卒業式準備、2、3カット 心ふれ	●	●	×
19	金	第47回卒業式	×	×	×
20	土	春分の日			
21	日				
22	月	学年行事（2）、保護者会（2）	●	●	—
23	火	1～4校時：学校行事（1）、保護者会（1）、都立高校定時制二次入試出願	●	●	—
24	水	2校時：1年学年集会、3校時：2年学年集会、5校時：大掃除、都立高校定時制二次願書取り下げ 心ふれ	●	●	—
25	木	修了式、都立高校定時制二次願書再提出	×	×	—
26	金	春季休業日（始）、都立高校定時制二次入試			
27	土				
28	日				
29	月	都立高校定時制二次入試発表			
30	火				
31	水				

※ SC：スクールカウンセラー
心ふれ：心のふれあい相談員
相談室直通電話：090-3213-4235

